

リベルタカラーリングシート

下記のそれぞれの材質に貼る前に表面が平滑であり、脱脂、汚れの除去が行われているかを必ず確認してください。

焼付塗装鋼板・亜鉛引き鉄板・ボンデ鋼板・アルミニウム板

そのまま施工できます。表面がなめらかな場合は水貼りも可能ですが、なめらかでない場合は後で膨れの原因となりますので水貼りは避けてください。特にヘアラインのきついアルミニウム板、でこぼこの多いトタン板は水貼りの場合水残りが起こりやすく、後で膨れになる可能性があります。

ステンレススチール

太陽光エネルギーとステンレスより遊離した金属イオンとの相乗作用で粘着剤の劣化が起こることがありますので、ステンレススチールへの施工の際は、事前にご相談ください。

ガラス

普段、水のかからないところであれば、脱脂・汚れの除去後そのまま施工できます。ただし、濡れた状態の続くところに貼った場合、水はガラス表面になじみやすいので粘着剤とガラスの間に徐々に入り込み、一時的に粘着力が低下し剥がれの原因となることがあります。これは一時的な現象であり乾いた状態が続けばまた元通り粘着力は回復しますが、窓ガラスの外側などに水がかかる可能性のあるところに貼る場合は注意が必要です。また窓ガラスの大幅面に貼り付けると熱割れを起こす恐れがあります。キズをついたガラス、網線の入ったガラスなどでは顕著でありご注意ください。

プラスチック

硬質塩ビ、アクリル等については汚れの除去後そのまま施工できますが、製造直後の板は品質が安定しておらず、内部より不純物やガスが出てくる場合がありますのでご注意ください。FRP、ウレタン、ポリカポネート等につきましては膨れを生じることがありますので施工はできるだけ避けてください。ポリエチレン、ポリプロピレン等には十分な接着力が得られません。他のプラスチックについても事前のテストが必要ですのでご相談ください。

コンクリート・スレート・モルタル・木部

アルカリ・水分の滲出・粗面による密着不良が原因で、浮き・剥がれが生じますので、そのままの施工は避けてください。適切な塗装、プライマー処理が必要となります。

テント地・FFシート

テント地の品質は千差万別ですので必ず事前のテストが必要です。品質の悪いFFシートは、施工後接着力がしだいに弱くなったり、浮き、縮み、発泡現象を生じたり、場合によっては貼り付けられたシート自体を侵し、極度に耐候性が低下し、変褪色やクラックを生じたりすることがあります。(FFシートを構成する可塑性PVCから可塑性が上に貼ったマーキングフィルムに移行し、製品劣化を招く。また同時に安定剤成分が移行する場合もあり、フィルムに添加されている安定剤成分と化学反応を起こし劣化を促進させる場合がある) FFシートへの使用は避けてください。

その他

- 上記以外の材質への貼り付け、または高温中・低温中・水中・その他特殊なケースでの貼り付けにつきましては、あらかじめご相談ください。
- 設置場所や設置環境により(水平面・潮風など)耐候期間が変わる場合があります。
- 三次元曲面等に貼る場合、フィルムの伸び率により十分な接着力が得られない場合があります。無理な押し込み貼りは後の膨れ、剥がれの原因となります。また継ぎ目部分がある場合は、その部分でフィルムをカットしてください。継ぎ目部分でフィルムが破れ、フィルム全体として劣化を早める可能性があります。
- コルゲートボディへの施工は避けてください。
- 広い面積のウインド面(目隠し)、電照サインの用途はお避けください。フィルム製造過程にて製品上、許容範囲内のピンホールがある場合があります。完全な目隠し用、電飾用には製造しておりませんので、ご注意ください。
- 同一場所には同ロットの製品を貼ってください。ロットぶれがある場合があります。また、つなぎ貼りの場合は流れ方向に合わせて貼ってください。
- 外気が10℃以上の雰囲気ですり施工してください。冬季の水貼りは避けてください。
- 規格・色数・色調など変更する場合がありますので、ご使用の際はご確認ください。
- 本来の用途以外では使用しないでください。人体への使用は避けてください。

